

CAGLIERO 11

N.135 - 2020年3月



サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信

第28回総会・宣教の促しに満ちた6か年



第

28回総会の開催地ヴァルドッコより、心からのあいさつを送ります。総長による第28回総会への報告のいくつかの側面をご紹介します：

サレジオ会の宣教の働きは、実に大いなる、素晴らしいものです。さまざまな国民や民族の人々と生活、使命を共にしている環境、状況はとても豊かですが、私の思うには、一般的にあまり知られていません。そのため、次の事柄をこの総会に集う議員の皆さんに紹介するなら、皆さんにとって大変興味深いのではないかと私は思いました。

現在、サレジオ会は134か国にあります：アフリカ43か国、アメリカ大陸24か国、アジア29か国、ヨーロッパ32か国、オセアニア6か国です。私たちの会員、トム・ウズンナリル神父が557日間拉致されていたイエメンでは、当面活動を停止しています。イラン、アンドラの2か国では活動が閉鎖されました。同時に、ほかの2か国に新たな拠点が創設されました：マレーシアとガンビアです。また、アフガニスタン、アルジェリア、ギニアビサウ、カザフスタン、イラク、スウェーデン、サントメプリンシペ、ソマリア、バヌアツに新たに共同体を開設してほしいという要請が届いています。



特定の宗教的背景

✓ **イスラム教の社会**：宗教の多様性、諸文化の多様性の現象はますます横断的に見られるようになり、地理的に限定されなくなっています。イスラム教が多数派の国々における私たちの拠点は、特に中東管区(MOR)、アラブ・イスラム教社会に集中しています：シリア、パレスチナ、エジプトです。その地でドン・ボスコのカリスマは、福音と諸宗教対話をあかしし、若者に奉仕しています。レバノンとイスラエルでは、私たちの事業はそれぞれ独自の性格を持っています。レバノンには多くのキリスト者がおり、イスラエルはユダヤ・イスラム教の背景があるからです。クウェート、アラブ首長国連邦の、また、マグリブ、モロッコ、チュニジアの新たな拠点を思い起こすことができます。アジアでは、アゼルバイジャン、バングラデシュ、インドネシア、マレーシア、パキスタン、トルコに、それぞれ非常に異なる性格を持つ拠点があります。ヨーロッパでは：アルバニア、コソボ、ボスニア・ヘルツェゴビナ。アフリカでは：ブルキナファソ、チャド、ガンビア、ギニア、コナクリ、マリ、セネガル、シエラレオネ、スーダン。

✓ **仏教の社会**：カンボジア、中国、韓国、日本(仏教と神道が多数を占める社会)、モンゴル、ミャンマー、ネパール、スリランカ、タイ、台湾、ベトナム。

✓ **キリスト教正教の社会**：ベラルーシ、ブルガリア、ジョージア、エチオピア、エリトリア、モルドバ、モンテネグロ、ルーマニア、ロシア、セルビア、ウクライナ。



人々の移動、移住という背景

✓ **難民と国内避難民 (IDP - Internally Displaced People)**：多くの国に影響を及ぼすこの現象の横断的な性格に加え、私たちは各地で、難民、国内避難民となった人々の悲劇的な現実に関わる非常に重要な場で働いています。例えば、ブルンジ、中央アフリカ、エジプト、エチオピア、インド、ケニア、レバノン、ナイジェリア、コンゴ民主共和国、ルワンダ、シリア、スーダン、南スーダン、トルコ、ウクライナ、ウガンダなどです。

✓ **移民の現象**はスケールが大きく、多様です。あまりに大きなものであるため、サレジオ会はさまざまな場面でこの問題に直面し深く関わるようになってきました。その例として、いくつかより重要な拠点を挙げます。移民の人々の出発する地と、到着地の両方で、私たちが移民、避難民のために働く拠点です。

親愛なる兄弟の皆さん、私が皆さんにお見せしたかったのは、私たちの会の美しい宣教の現実を写し撮った“写真”です。すべての人に ad gentes 宣教するために遣わされたサレジオ会宣教師は、今日、この働きを続けている人々からさかのぼり、かつて礎を築いた人々まで数えると、1875年のドン・ボスコによる最初の宣教派遣に始まり、私たちが立ち会った先の第150回宣教派遣に至るまで、10,400人以上にのぼります。幾度となく、私たちの姉妹、サレジアン・シスターズも、私たちと共に宣教地に赴きました。しばしば宣教活動を補い合っただけで果たすためでした。



この男性、女性の宣教師たちは、神の恵みと聖霊の働きによって、今や五大大陸で成長するドン・ボスコのサレジオのカリスマを、種まき、植えてきました。ドン・ボスコ自身も、宣教師となる望みを育みました。その思いは彼を離れることがありませんでした。それはドン・ボスコが抱いていた大いなる理想で、息子、娘たちを通して彼はそれを実現させたのです。私たちは確かに宣教師として歩んできました。そして「ドン・ボスコの後継者たちは、創立者の精神に忠実に、会の宣教活動に特別な努力を常に払ってきました。」私たちがまたそのように歩みつづけることを、私は皆さんに確証します。

スイーツから宣教へ



私

がサレジオ会員ジョージ・シュワルツ神父と出会ったのは、カンバン（フィリピン北管区）のサレジオの大学で学んでいたときでした。ジョージ神父は年配のドイツ人宣教師で、私たちの学校の科学実験室を担当していました。厳しいと聞いて、私は怖くて近寄れませんでした。ある日曜日の朝、学校の聖堂でミサの侍者奉仕の準備をしていると、飴やチョコレートの詰まったパックが私の顔めがけて飛んできました。パックはもろに鼻に当たりました。投げたのはジョージ神父でした。私は頭をかきながら神父を見ました。にっこり笑いながら、ジョージ神父は言いました。「甘い優しい人になるために、スイーツをどうぞ!」その時以来、私はゆるしの秘跡を

受けるためにジョージ神父のもとへ行き、ジョージ神父のミサで奉仕し、彼の実験室

でたくさんの実験をし、中国、そしてフィリピンでのジョージ神父のすばらしい宣教活動について知りました。私はその姿に影響され、サレジオ会員になり、その後、彼のようにになりたい、宣教師になりたいと祈るようになりました!

修練期後の養成支部で養成を担当していたとき、アンヘル・フェルナンデス神父に直接志願の手紙を渡しました。実地課程のときに招きを受けてから、7年という長い識別の歩みでした。

その歩みは、宣教地に到着する以前にすでに多くの挑戦に出会うものでした。ピサーナの総本部でのクリスマスミサの後で、私は父が亡くなったという悲しい知らせを受けました。アンヘル神父は、ドン・ボスコのように傍らにいてなぐさめてくれました。多くのサレジオ会員と知り合いだった父は、サレジオの学校の聖堂で日々のミサにあずかっていた。私の養成のころから亡くなる前日まで、毎日あずかりました。今、宣教師の息子には、天で祈ってくれる祈りの戦士がいます。

私は2017年、ポルトガル語を全く知らずにマナウス管区に来ました。新参者にとっては大きな挑戦です。神に感謝、私の最初の言語学習のため、管区長がある年配のサレジアン・シスターに私の家庭教師を頼んでくれました。僻地の町で働くことは、さらなる挑戦です。国では、私は大きな都会で育ったからです。その上、文化や仕事の仕方に適応することも、特に多くのことが理解しがたいように思われ、骨の折れることでした。

生徒たちの生活態度が良くなるのを目にすると、彼らがサレジオのユースセンターで成長の体験を共にするとき、教会でより積極的に関わるようになるとき、また生徒の傍らに座り、彼らの直面する挑戦や困難に耳を傾けると、疲れや故郷を思い寂しくなる気持ちは大したことではなくなります。宣教地で神を第一にして過ごした三年近くの月日をふりかえったとき、道は平たんではありませんでしたが、毎日、より良いサレジオ会員になり、召命において成熟していき、聖性において成長する自分を目にしました。

宣教師の道に呼ばれていると感じる若い会員には、信仰の跳躍の一步を踏み出すことを恐れないでと言いたいです。なぜならまちがいない神は、皆さんを助け導くためにいつも共にいてくださるからです。挑戦に満ちた人生と若者のための犠牲を抱きしめようと「忍耐をもって、忍耐のうちに、忍耐する」人を、神は祝福してください。

フィリピン出身、ブラジル・アマゾンの宣教師 **ホセ=マリア・ヴェルガラ・カスティヨ**



サレジオの宣教の聖性のあかし

サレジオ会列聖申請人 **ピエルルイジ・カメローニ** 神父

尊者**アウグストゥス・フロン** (1881 - 1948)。サレジオ会員枢機卿、ポーランドの主席司教、堅固な信仰をもって、ポーランドの人々をナチズムの恐怖から守ったように、牧者の力強さをもって、共産主義の無神論から人々を守り続けた。抑圧される人々を守り、社会問題を解決し、食べる物、住む家のない人々をなぐさめ助けるため、全力を尽くした。1932年の司牧教書に次のように書いている：「したがって、カトリック信徒は、カトリックの精神を生きる誠実な人々を立法府に送るため、選挙に参加するだけでなく、自ら政府、議会、立法機関、政治、自治体の行政に参加する務めも負っています。教会の公式の代表としてそれらの場所にいるわけではありませんが、カトリックの理念にしたがって統治する市民として、政治家として、その場にいることになるのです。」

中国のカトリック信徒のために

中国の教会が福音への忠実のうちに堅忍し、一致において成長しますように。

サレジオ会は1906年に中国に入りました。困難、迫害、殉教にもかかわらず、サレジオ家族は中国に根づき、教育、福音宣教の働きを続けました。聖霊がその働きを照らし、強めてくださいますように、祈りましょう。



サレジオ会の宣教の意向

